

沖縄市議会
(基地に関する調査特別委員会)
現地視察資料

平成27年6月29日

沖縄市サッカー場に係るこれまでの経緯

1 1次調査（平成25年6月～7月）

- 昭和62年8月に一部返還された嘉手納飛行場の返還跡地で、平成25年6月13日、沖縄市サッカー場人工芝敷設工事中にドラム缶22本を発見。
- 当該ドラム缶が駐留軍跡地から発見されたことに鑑み、ドラム缶の付着物及び周辺土壌等の調査を6～7月に実施。

2 2次調査（平成25年9月～平成26年7月）

- 広範囲にわたってドラム缶が埋没している可能性が否定できないこと等から、9月6日、サッカー場全域におけるドラム缶等の有無についての調査、ドラム缶の発掘、付着物等の調査等を開始。
- 1月29日から2月4日に発掘調査を行いドラム缶61本を発掘。
- 発掘したドラム缶61本の付着物、周辺土壌、たまり水を採取し、分析、詳細な解析を実施。

3 2次追加調査（平成26年9月～平成27年1月）

- ドラム缶底面土壌におけるDDT類の深度方向の調査や、たまり水におけるダイオキシン類の再分析等の追加調査。

4 3次調査の開始（平成26年7月～）

【地表から2mより深い部分の調査について】

- グラウンド側は、鉛直磁気探査(平成26年7月～10月)を実施。確認された磁気異常点87点のうち66点については、発掘作業を実施済。ドラム缶は発見されず。
- 駐車場側は、経層磁気探査を実施。平成27年1月から6月までに予定していた範囲について完了。

【駐車場側の経層磁気探査におけるドラム缶の発見について】

- 2月6日から19日にかけてドラム缶17本を発見。当該ドラム缶について、付着物や底面土壌、たまり水を採取し、分析、詳細な解析を実施。
- ドラム缶のほかに大量の廃棄物が発見されたことから、沖縄市等と調整した上で、3月25日より経層磁気探査を再開。
- 4月8日から11日にかけて、ドラム缶8本を発見。
当該ドラム缶については、現在発注手続き中である業務において、分析を実施する予定。